

イーもびスタッフの災害ボランティア報告①

広報・マーケティングスタッフ
後潟 美奈子

～人吉市城本町「人吉市東西コミュニティーセンター」近くの民家～ (2020年7月18日(土))

7月18日(土)、人吉へボランティア活動へ参加してきました。
この日が私の災害ボランティア活動デビューになります。

伺ったのは、立派な平屋建てのお宅。家主さんは、週末などに来られるくらいで当日は誰もいなかったとのこと。それでも家の中は足の踏み場もないぐらいに物がすべて倒れ流され、更に泥にまみれていて悪臭を放っていました。

この日は私以外にも災害ボランティア活動初めての女性が数名いて、1人の方はその光景を目に涙していました。

私自身も正直、『テレビの向こう側がほんとうにあった』と思いました。

早速片付けに入り、まずは大きな家具や水を吸って重くなった畳などを男性中心に運び出し。女性は食器や衣類、小さめの家具家電などを庭にすべて出していきます。大人9人で活動しましたが、もうこれだけで丸1日かかります。



庭に運び出した家財道具



空になった家には床に泥と重くなった畳だけが残りました



9人いても1日1軒しか片付けられない、助けられないのか、と水害の恐ろしさを感じました。

この日は、手分けしてもう1軒のお庭の泥出しをしました。こちらもお夫婦のお宅で、当日は夕方の放送で早めに避難したから助かったとのこと。1階は完全に浸水し、今は2階で寝泊まりをしているそうです。お年を召していて、さらに足を不自由にされていたのでご夫婦だけで片付けは到底不可能ですが、ご家族の方がお手伝いに来られておりました。

お話を伺うと、これから先のことなどとても不安そうにしておられましたが、冗談を言うと笑顔を見せてくれ少し安心しました。

家財や泥の運び出しのみでなく、お話をすることもボランティアの一環だと思いました。



当日の様子や今後について
お話を伺いました

～青井阿蘇神社周辺の沿道災害ゴミ清掃作業～

(2020年7月25日 (土))

7月25日 (土)、私の2回目となる災害ボランティア活動は、人吉の青井阿蘇神社周辺にある災害ゴミ清掃作業でした。

こちらの青井阿蘇神社は、平成20年に熊本初の国宝指定を受けた神社です。



青井阿蘇神社鳥居に通じる赤い禊橋と蓮池の現状



神社前にある蓮池も、この時期綺麗に咲いていたであろう蓮の花は全て泥とゴミで埋め尽くされていました。

災害前は、鳥居に通じる赤い禊橋を渡りながら、綺麗に咲いた蓮の花を眺める人でこの時期は賑わっていたんだろうなと思います。

沿道を清掃し、車など安全に通行できるようにしていきます。その沿道には並木があったのですが、4mはあろう木のでっぺんには衣類などが引っかかっており、こんな高さまで濁流が押し寄せたのだと思うとゾッとしました。

大きいものでは、バイクや洗濯機、車まで流されてきていて、もちろん中は泥だらけ。細かなものだと、瓦や木々、民家から流れてきた生活用品など。そういったものを1つ1つ運び出し、ダンプカーが何往復もします。



木に引っかかる流されてきた衣類やバイク

もちろん沿道には泥がかぶっておりますので、シャベルで掻き出します。

晴天と私の日頃の運動不足、マスクで蒸すのもあって汗が止まりませんが、ボランティア同士の声の掛け合いや、炊き出しの方から頂く飲み物に救われます。



災害ゴミの山に埋もれる民家

近くを歩いてみると、どこもかしこも災害ゴミが山のように積まれており、そのゴミの間の半壊の民家の中で、ご飯を食べたり清掃している人がいたり物資の支援拠点を設けていたり、どこか異国にいるような、ここが日本・熊本とは思えませんでした。

そう思ってもこれからも手助けは必要なので、長い目で支援活動を続けていければと思います。